



Japan Environmental Management
Association for Industry



資料1

第3回JEMAI環境ラベルコミュニティ プログラムの現況等

2016.4.12

一般社団法人産業環境管理協会

Copyright(C)2015 JEMAI All Rights Reserved

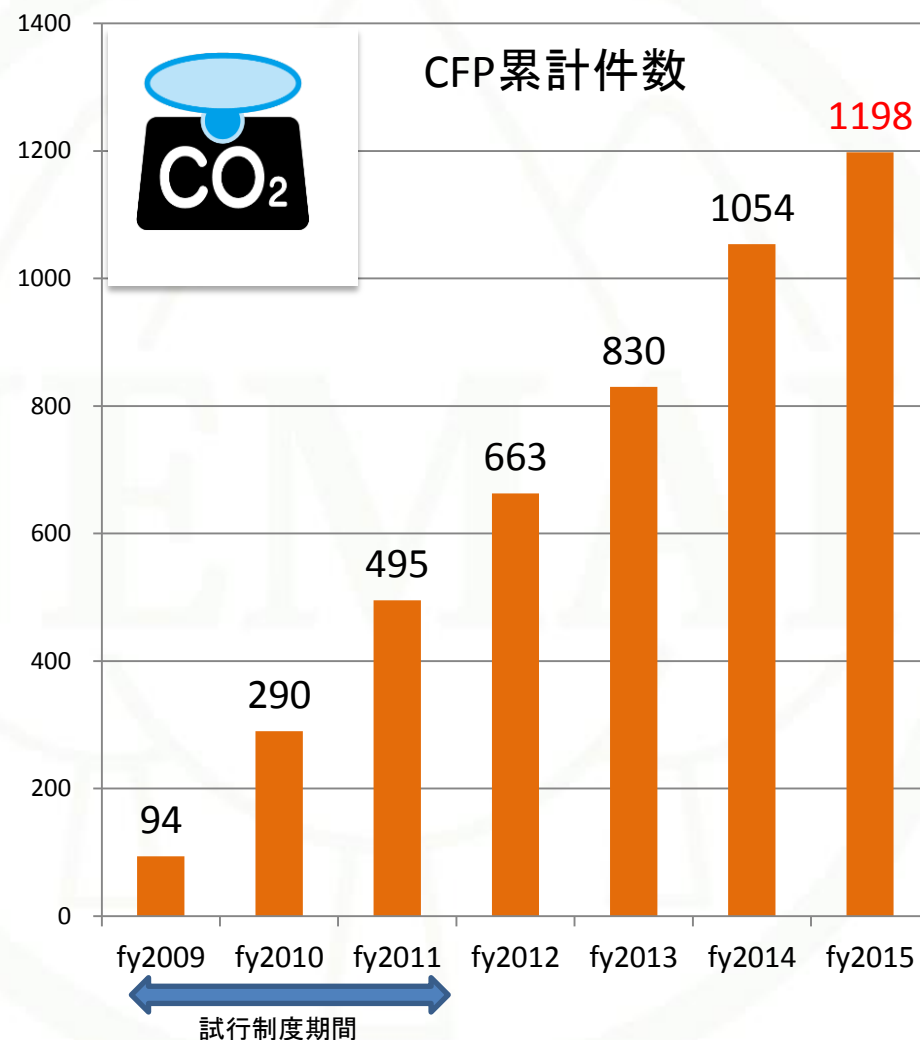


1-1 概況、全体動向等



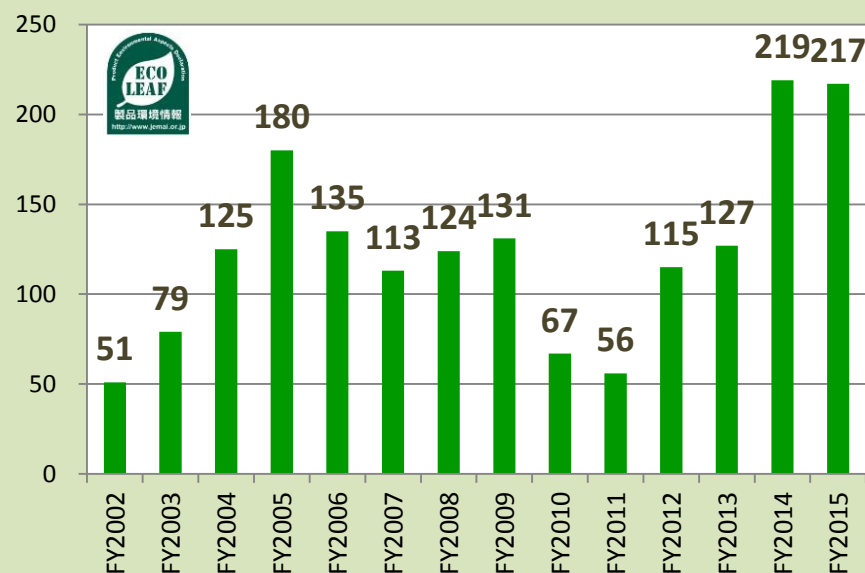
JEMAI環境ラベル 累計登録数

エコリーフは累計1700件を超えました！CFPは4月中に累計1200件を突破！



新規登録数の推移

エコリーフ環境ラベル 新規登録



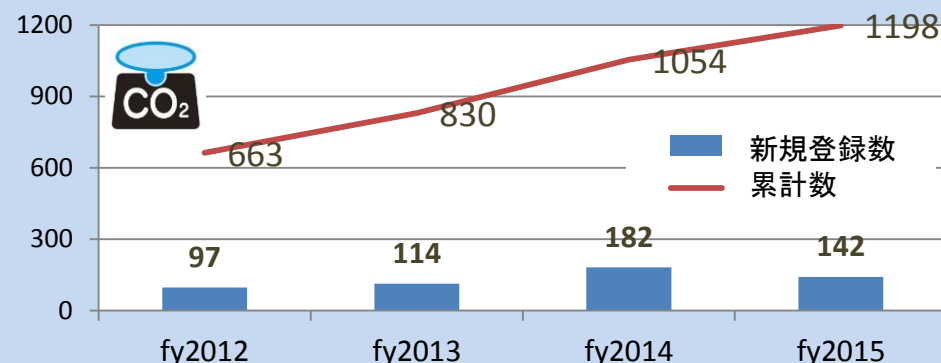
～ エコリーフ取得の追い風 ～

・複合機メーカーの海外環境制度対応の影響を受け、新規登録数が依然として多い状態。

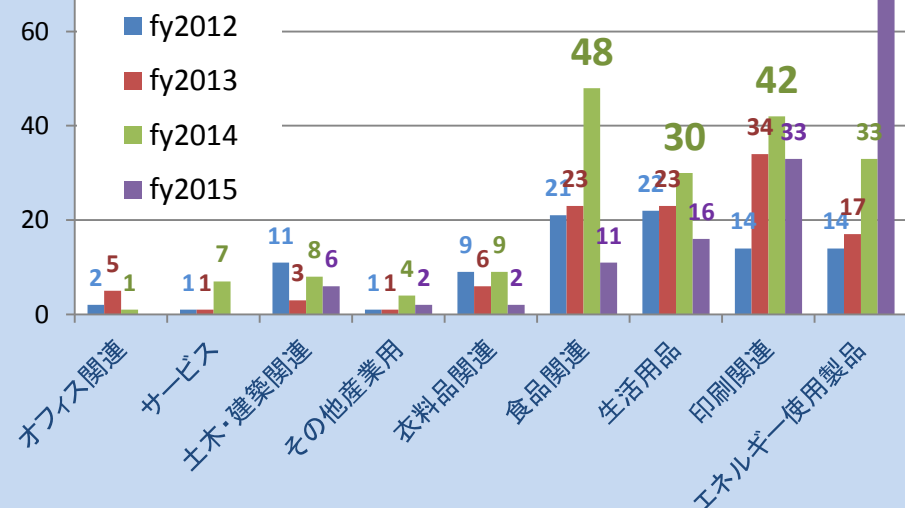
・2014～5年度には、過去に参加実績のある企業が再び新規登録を実施し始め、全体の登録数が増加した。
(セイコーエプソン、シャープ、理想科学工業など)

・建材分野における海外制度でのEPD、LCA活用が注目されており、米国のLEED制度などを中心に建材関連企業や関係者から問い合わせが増加している。

カーボンフットプリント 新規登録数



CFP製品新規登録 分野別推移



- ・印刷関連の分野の新規登録は、安定した実績数を例年記録。
- ・2014年は食品、生活用品で登録が増加したが、2015年は減少。
(どんぐりポイント制度でCFPプログラムを経由しない登録が増加したため)
- ・2015年からエネルギー使用製品の登録が急増！(主に複合機)

新規登録企業のご紹介

シチズン時計 / シチズン エルシリーズ



「美しいものは美しいマインドから生まれる。内側の美が外側を輝かせる」というコピーに続いて、「エシカルコミットメント」が！

- ・製品成分表の公開
- ・CO₂排出量(CFP)の公開
- ・DRCコンフリクト(紛争鉱物)フリー宣言
- ・取扱説明書スリム化
- ・サステナブルな時計パッケージ

トライ・ウッド / 輪掛け乾燥構造材(中間財) エコビルド / 天然乾燥化粧構造材

平成28年2月9日

株式会社 安成工務店
株式会社 トライ・ウッド
株式会社 エコビルド
株式会社 デコス



日本初 サプライチェーン3社が連携した「CFP（カーボンフットプリント）建材」を使用した家づくりを推進

株式会社安成工務店（山口/以下安成工務店）の木の家づくりに欠かせない天然乾燥木材「輪掛け乾燥材」（大分：株式会社トライ・ウッド/以下トライ・ウッド）とその材料を加工する「半自動プレカット」（株式会社エコビルド/以下エコビルド）、新聞紙をリサイクルしてつくる断熱材「デコスファイバー」（株式会社デコス/以下デコス）。

この3社は、日本で初めて家づくりのサプライチェーンとしてCFP（カーボンフットプリント）の宣言認定を取得しました。



全日本プラスチックリサイクル工業会 / 日本プラスチック有効利用組合

カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-EF01-15001	1.7 製品写真
1.2	製品名称（日本語）	ポリエチレン リサイクルペレット100 JPRA/NPY	
	製品名称（英語）	Polyethylene, 100% recycled resin JPRA&NPY	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	産業系廃プラスチックを主要材料としたリサイクル率100%のポリエチレンペレット	
1.5	CFP算定単位	1kgあたり	

業界平均値CFPが公開！

全日本プラスチックリサイクル工業会および日本プラスチック有効利用組合が会員各社から、原材料調達から生産段階までデータを収集し、温室効果ガスの排出量の工業会平均値を求めました。この工業会平均値でのカーボンフットプリント登録は日本初！

CR-EF01-15001 ポリエチレン リサイクルペレット100 JPRA/NPY
CR-EF01-15002 ポリプロピレン リサイクルペレット100JPRA/NPY
CR-EG01-15001 リサイクルプラスチック成形製品 NPY/JPRA

2015年度LCA日本フォーラム表彰での受賞実績

安藤ハザマ様が 会長賞 を受賞！

LCA日本フォーラムによる選評 (企業プレスリリース文書より抜粋)

国内で初めて建築物を対象としたCFPプログラムの総合的な取り組みを実施し、建築物のCO₂排出削減の戦略的取り組みが高く評価された。

従来から建設業界で実施してきた個別のライフサイクルCO₂評価から、一歩進めてCFPプログラムの適用に取り組み、評価内容をより客観的かつ根拠公開可能とした点が高く評価された。

ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)が現実味を帯びる中、運用時以外の段階におけるCO₂排出量の算定に着手し、CFP-PCR作成、CFP算定結果の公表が高く評価された。

**プリンター及びファクシミリにおける
エコリーフ環境ラベル取得による
環境配慮製品の創出活動**

カーボンフットプリントを活用した 建築物のCO₂排出量の「見える化」

カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報		
1.1	登録番号	CR-DX01-14001
1.2	製品名称(日本語)	安藤ハザマモデル建築物
	製品名称(英語)	HAZAMA ANDO CORPORATION Model Building
1.3	製品型式	—
1.4	製品の主要仕様・諸元	用途: 飲食店舗及びテナント 建物規模: 地上8階、地下1階 建築面積: 358.80 m ² 延床面積: 2595.4 m ² 構造: RC造 架構形式: X方向耐震壁付ラーメン構造、Y方向純ラーメン構造
1.5	CFP算定単位	1棟あたり・耐用年数60年あたり
1.6	公開日	2014年7月25日
1.7 製品写真		
2. 事業者情報		
2.1	事業者名(日本語)	株式会社 安藤・間
	事業者名(英語)	HAZAMA ANDO CORPORATION

ブラザー工業様が 奨励賞を受賞！

今回の受賞では、エコリーフ環境ラベルの運用が開始された2002年から、ブラザー工業が取得を開始していること、累積208機種に及ぶ取得の実績(2015年9月末現在)、長年にわたる継続的なLCA普及活動、LCAデータを収集するシステムの構築と製品への応用、低待機電力技術「グリーンスタンバイ」による実績などが評価されました。(企業ウェブサイト文書より抜粋)

LCA日本フォーラム表彰の講演資料は以下でご覧いただけます。
<http://lca-forum.org/seminar/list.html>

様式1(F-01s-02)

製品環境情報

Product Environmental Aspects Declaration

ファクシミリ(適用PCR番号: AH-03)



No. AH-16-193
公開日 2016年 2月26日

brother
at your side

<http://www.brother.co.jp/>

お問い合わせ先

薄型インクジェット複合機 MFC-J990DWN

<製品仕様>

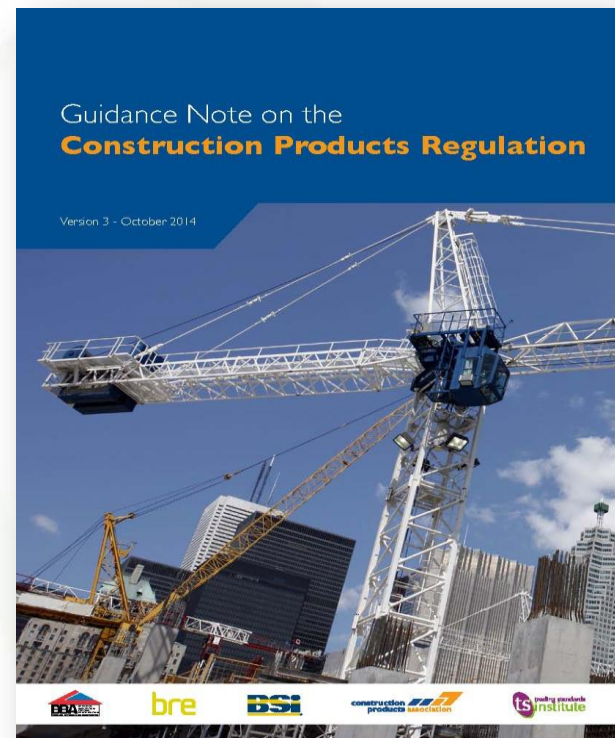
- ・カラーインクジェット方式
- ・パーソナル用
- ・記録紙サイズ A4(最大210×297mm)
- ・最大原稿サイズ 最大幅215.9mm
- ・A4用紙、最大11.4リットル(自動給紙時)

1-2 関連制度動向

近年のLCA/EPDの活用例：建材に関する規則（欧州）

Construction Products Regulation (CPR)

- 2011年に Construction Products Directive が Construction Products Regulation (EU305/2011)になった
 - EU加盟各国で同じ規制内容が適用される状態になる
 - EU加盟各国の国内法よりも優先して適用されなければならない
- 建材に関する取引ルールを確立するEUの法令
- 対象：新製品は2012年～、既存の製品は2013年～
- 製品がパフォーマンス宣言（DoP）に準拠していることを証明。
- 7つの基本的要件（Basic Requirements）：
 - 3番の「衛生・健康・環境」と7番の「天然資源の持続可能な使用」にライフサイクルの観点が取り入れられている
 - 天然資源の持続可能な使用と建設工事の評価には「EPDが入手できるのであれば、使われるべき」と記載されている。



英国の Construction Products Association
発行のガイダンス

- **CPRの対象製品には、冷暖房空調設備（HVAC）が含まれる。**
- **日本のHVAC製造企業としても欧州市場の動向として注目が必要？**

近年のLCA/EPDの活用例：LEEDが日本へ（建材）

LEED：Leadership in Energy & Environmental Design

- 建築物の環境性能に関して加点するランキング制度。米国発。
- 現在 LEED v 3と v 4が併用。
- **v4からLCA・EPDが加点の対象に。**
- 2016年10月末からv4へ完全に移行。



日本国内での普及を目指して…

- 日本語による資格試験（2015年内）
 - 専門資格試験のエントリー部分である「LEEDグリーン・アソシエイト」試験を日本語化
 - 受験準備に有用なコア・コンセプト・ガイドと受験者用ハンドブックの日本語版を予定
 - 既にスペイン語、ポルトガル語、中国語、フランス語、アラビア語化されている
- v4の「新築及び大規模改修」「業務テナント内装」「既存建物」の各評価項目概説の日本語版を公開予定（2016年～）
- 屋内禁煙の特別な“日本ルール”
 - V4では全館禁煙が認証の必須条件
 - 分煙の喫煙室も不可。日本でのLEED活用に大きな影響が懸念
 - 日本独自に代替方法として屋内禁煙室のオプションを用意
 - パイロットテストを開始

近年のLCA/EPDの活用例：EPEAT（米国）

EPEAT：Electronic Product Environmental Assessment Tool

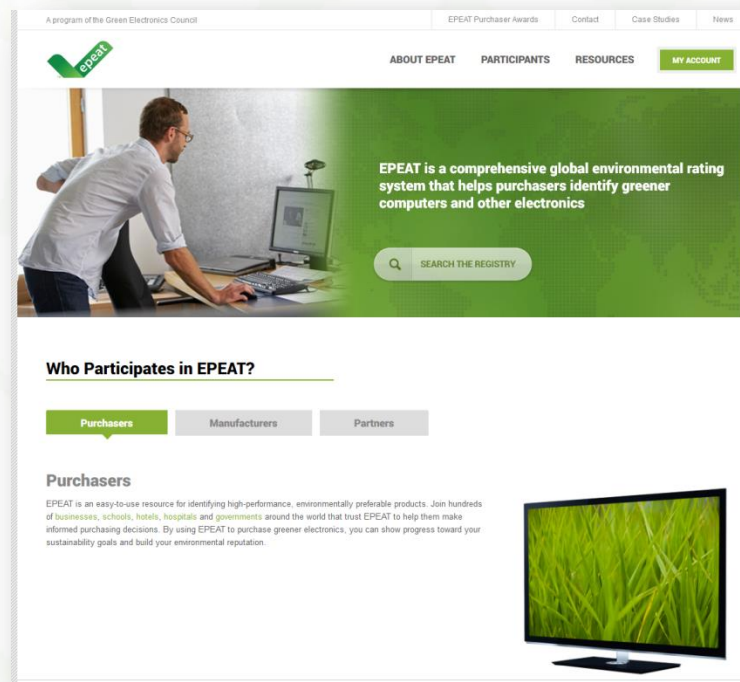
- 電子・電気製品の環境総合評価システム
- アメリカ連邦政府や様々な州の電子・電気製品調達で活用されている

登録可能な製品カテゴリー

- Computers and displays（コンピュータとディスプレイ）
 - desktops, laptops/notebooks, workstations, thin clients, displays（computer monitors）
- Imaging equipment（画像入出力機器）
 - printers, copiers, scanners, multifunction devices, fax machines, digital duplicators and mailing machines）
 - **LCA/EPDがオプションで加点ポイント**
- Televisions（テレビ）

基準が開発中の製品カテゴリー

- Server（サーバー）
 - NSFとIEEEが共同開発中
 - **LCA/EPDがオプションの加点ポイントとしてNSF側の基準ドラフトに記載**
- Photovoltaic modules（太陽光発電モジュール）
 - NSFがホストの委員会が開発中
 - **LCA/EPDがオプションの加点ポイントとして基準ドラフトに記載**
- Mobile devices（モバイル機器）
 - ULの既存の基準を採用予定
 - LCA/EPDの扱いは不明



EPEATの最近の動向

- 新しい大統領命令EO13693が2015年3月19日付で発行。
 - エネルギー問題に特にフォーカス。
 - 2016年10月から有効
 - 前の大統領命令EO13423（2007年1月26日付発行）にあった「…95%以上をEPEAT登録製品から調達… (when acquiring an electronic product to meet its requirements, meets at least 95 percent of those requirements with an Electronic Product Environmental Assessment Tool (EPEAT)-registered electronic product…」という文言がなくなる。

大きな混乱が起こる・・・

- 大統領府のチーフ・サステナビリティ・オフィサーKate Brandt氏が同年6月10日に新しい指示 The Implementing Instructions for EO13693を発行。
 - 連邦政府の購入担当者は、EPEAT登録製品を使い続けてよい事が再確認。
 - 大統領命令13693のセクション3 (I) に記載されている電子機器の管理業務を達成するのに利用できる唯一のツールがEPEATである事の説明。
 - ✓ 連邦政府によるEPEATの信頼性が強化
 - ✓ 「95 percent・・・」から「all・・・」に
 - EPEATを電子機器の購入の旗手として確立し、同じ厳格な要件を満たしている場合は他のツールにもチャンスが与えられる。
 - 一般的にオフィススペースやデータセンターで使用される電子製品」と具体的に指示に記載されている。



Meets all Required
Criteria Plus at Least
75% of the Optional
Criteria



Meets all Required
Criteria Plus at Least
50% of the Optional
Criteria



Meets all Required
Criteria

近年のLCA/EPDの活用例：日本

改訂版のISO14001にライフサイクルの視点が追加

- 2015年9月に改訂されたISO14001:2015（環境マネジメントシステム - 要求事項及び利用の手引）に新たにライフサイクルの視点がいった。

環境経営ランキング

- 日経環境経営度調査やCDP、東洋経済CSR企業ランキング等で高い評価を得るには、EMS等の他に、組織や製品のLCAによるサプライチェーンを含めた環境情報の把握とその開示が重要となっている。

自治体が地元企業の活動を後押し（川崎市 削減貢献量認定制度）

- 市内企業の環境技術が、市場で適切に評価される仕組みとして、製品・サービスのライフサイクルにおける温室効果ガスの削減貢献を認定する「川崎メカニズム認証制度」、「低CO2川崎ブランド」を推進。

機能あたりの削減率で環境配慮をアピール（日立製作所）

- 製品の機能あたりのライフサイクルCO2排出量を従来機種と比較。CO2削減率としてCFPマークの表示を行うことで、機器を購入した顧客が環境配慮をアピールする際の、情報の品質を保証。

自社の取組を顧客と連携の活動に（富士特殊紙業）

- 納入先の食品メーカー、フライスターと協力し、容器包装でエコリーフを取得。連名で食品産業での表彰、「食品安全安心・環境貢献賞」を受賞。

環境への負荷と貢献をKPI化（積水化学工業）

- LCA手法を応用し、企業活動が環境に与える負荷と環境への貢献の度合いを指標化。「生物多様性が保全された地球」を理想の姿とし、達成度を測る指標「SEKISUI環境サステナブルインデックス」として活用を開始。

業界の環境活動として（日本プラスチックリサイクル工業会／日本プラスチック有効利用組合）

- ポリプロピレンとポリエチレンのリサイクルペレットの業界平均値をCFPプログラムで算出、公開。団体に所属する企業が共通で数値を使用することができる。



LOW CARBON

